

道路整備事業計画

(単位：千円)

No.	路線名	優先する理由	事業内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	備考	
1	常呂山道路線	・「土地利用計画」や「地域防災計画」、「津波避難計画」、「駒ヶ岳火山避難計画」などにおいて、道路整備の必要性が示されている。 ・また、役場庁舎の移転に伴う交通量の増加や大型バスの通行により、車両が安全に通行できるようにするための「曲線半径の改善」と「ロードヒーティングの更新」が懸案となっている。 ・路線の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されているため、土砂災害対策が必要。	予備調査・事前交渉											令和３年度に予備設計 令和５年度事前交渉（補助金申請準備）	
			補助要望												
			実施設計・測量調査・補償調査												
			補償（用地・物件）												
			本工事												令和14年度開通予定
			概算事業費									70,000	344,000	322,000	
2	水源地道路線	・「土地利用計画」や「地域防災計画」、「津波避難計画」、「駒ヶ岳火山避難計画」などにおいて、道路整備の必要性が示されている。 ・通学路交通安全プログラムにより、歩道設置が望まれている。 ・また、鹿部バイパスの開通に伴い、通行車両を市街地へ誘導する幹線道路としての整備が懸案となっている。	予備調査・事前交渉												
			補助要望												
			実施設計・測量調査・補償調査												
			補償（用地・物件）												
			本工事												令和11年度開通予定
			概算事業費	6,655				170,000	150,000	150,000					
3	本別神社横道路線	・「土地利用計画」において、旧国道と鹿部バイパスの連絡道路の必要性が示されている。 ・また、町道留の沢線から本別4号線の間には旧国道から鹿部バイパスに抜ける町道がないため、津波発生時の避難ルートの確保が懸案となっている。	予備調査・事前交渉											令和５年度接続経路の調査	
			補助要望												10年間のなかで、交付金事業が活用できる様に最低限の町道（３m：砂利）を先に整備する。将来的に拡幅や舗装の検討が必要。
			実施設計・測量調査・補償調査												本要望前（３m）測量・設計 ※R15以降に本設計予定（未定）
			補償（用地・物件）												本要望前（３m）用地買収
			本工事												本要望前（３m）砂利舗装整備 ※舗装整備未定 避難経路の確保
			概算事業費										9,300	7,700	

No.	路線名	優先する理由	事業内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	備考
4	宮浜道路線	・「土地利用計画」や「地域防災計画」、「津波避難計画」、「駒ヶ岳火山避難計画」などにおいて、道路整備の必要性が示されている。 ・通学路交通安全プログラムにより、歩道がない一部区間に歩道設置が望まれている。 ・なお、認定こども園建設予定地が接するため、今後の道路線形を考慮しながら、先行して一部歩道設置が必要とされている。	予備調査・事前交渉	認定子ども園周辺の一部歩道と接道する道路拡幅改良										道路全体の線形を考慮し、先行して認定こども園敷地の歩道改良について調査する
			補助要望						10年間のなかで、認定こども園の計画に合わせ接道する部分に歩道を設置する。宮浜地区で唯一、旧国道と鹿部バイパスを結ぶ路線であることから、将来的には旧幼稚園の解体後に、線形改良による3種4級規格（2車線）の道路整備が望まれる。					
			実施設計・測量調査・補償調査											道路全体の線形を考慮し、先行して歩道改良について詳細設計を実施する
			補償（用地・物件）											認定こども園敷地の歩道改良に係る買収なし
			本工事											先行して認定こども園敷地の歩道改良工事を実施する ※こども教育課と調整必要
			概算事業費	15,070	79,266									R5~14 計 94,336
5	出来潤北11号線	・「地域防災計画」、「津波避難計画」、「駒ヶ岳火山避難計画」において、整備の必要性が示されている。 ・道道鹿部停車場線の路肩拡幅計画に伴い、歩行スペースの確保が課題となっているが、これについては道道の計画内容により事業実施の是非を判断する必要がある。 ・クラブハウス前から演習場入口までの区間は、幅員狭小のため対面通行に支障をきたしていることから、拡幅整備が懸案となっている。	予備調査・事前交渉						・道道鹿部停車場線の路肩拡幅計画に伴い、歩行スペースの確保が課題となっているが、これについては道道の計画内容により事業実施の是非を判断する必要がある。 ・クラブハウス前から駒ヶ岳演習場入口までの区間について、拡幅による3種4級規格断面（車道幅員5.5m）への改良事業を行う。（R15年度以降）					停車場線の拡幅計画に伴い本路線を連続性をもった道路となるよう検討する
			補助要望											計画内容により判断予定
			実施設計・測量調査・補償調査											停車場線改良工事の進捗に合わせて実施
			補償（用地・物件）											
			本工事											先行して停車場線拡幅に伴う整備を検討する。
			概算事業費			4,500	11,500	11,500						R5~14 計 27,500

			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R 5年度～ R 14年度（10ヶ年）計
事業費等年次計画			21,725	79,266	4,500	181,500	161,500	150,000	70,000	344,000	331,300	7,700	1,351,491

